〔様式１〕

2022 年 4月　*〇〇*日

2022年度春学期 関西大学大学院「考動力」人材育成プロジェクト

申請書

|  |  |
| --- | --- |
|  |  |
| 学籍番号 | 　 |
| 所属 | 研究科　　　　　　　　　　　　　　専攻 |
| 指導教員名 |  |
| 生年月日 | 　　　　年　　月　　日生（　　歳） |
| 住所 | 〒 |
| 連絡先 | TEL: |
| E-mail: |
| 研究テーマ・キーワード（5つまで） |  |
| 研究倫理 eLCoRE e-learning program | □受講済　　　□受講予定（　　　年　　月） |
| 奨学金等の受給状況 |  |
| 特記事項 |  |

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*※各事項の文字制限はありませんが、それぞれの項目に指示のある分量に収めてください。様式の変更・追加は不可とします。*

*※フォントは、MS明朝（10.5pt）で記入してください。*

*※適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。*

|  |
| --- |
| **１．【志望理由】**※１/2ページ程度本人材育成プロジェクトは、卓越した「考動力」を発揮して様々な社会課題に取組み、その解決に貢献できる研究者もしくは高度専門職業人を支援することを目的としています。募集要項にある「選考の観点（方針）」を踏まえ、自身が目指す研究者像、高度専門職業人像を明確にし、それに向けて本人材育成プロジェクトをどの様に活かすのか、取り組むのかといった視点から志望理由について簡潔に記入してください。 |

|  |
| --- |
| **２．【研究計画】**※図表等を含め2ページ以内本人材育成プロジェクトの目的、募集要項にある「選考の観点（方針）」を踏まえ、自身の研究計画についてわかりやすく、簡潔に記入してください。（1）研究課題名（2）本研究の目的・研究方法・研究内容（3）本研究で何をどのように、どこまで明らかにしようとするのか。（4）研究の特色・独創的な点　　（先行研究等との比較、本件の完成時に予想されるインバクト、将来の見通し等にも触れて記入してください。）（５）本研究における挑戦的・融合的な内容及び「社会的課題」の解決への貢献 |

*（※）本行を含め、以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*【審査時のポイント】*

*研究計画は、チャレンジングな研究が高く評価されるとともに、これにより研究費の配分が決定されます。*

*※目的・意義は、焦点が絞られ具体的に明示されているか。*

*※研究計画・研究方法が合理的であり、研究成果の発信を含め、実現可能性があるか。*

*※研究提案者自らの構想に基づく研究提案であるか*

*※研究構想を実現しようとする意欲があること、実現の可能性が感じられるか*

|  |
| --- |
| **３．【国際的な研究活動の計画】（研究テーマや方法、内容との関係を考慮します。可能な範囲で記入してください）**※１/2ページ程度本人材育成プロジェクトでは、海外研究者との研究交流・共同研究の機会を通じて、将来、国際的な活躍ができるよう海外での研究活動への参加や国際学会等での積極的な研究発表、海外協定大学等への留学など国際的な研究活動を支援します。あなた自身の今後の研究計画において、国際的な研究活動を行う場合は、その内容及び必要金額\*を具体的に記入してください。また、海外教員による研究指導を計画する場合は、その意義・目的や必要性、派遣希望する期間、派遣先機関(指導教員)の受け入れ準備状況及び現在の語学運用能力について記入してください。\*国際的な研究活動の補助項目は、次のとおりです。なお、補助金額は、採択後に個別面談を実施し、研究計画の詳細についてお聞きしたうえで決定する予定です。海外出張（学会発表含む）交通費補助、論文翻訳校閲費用補助費、国際学会参加補助費、国際学術雑誌投稿料補助費 |

４　【研究費使用計画】

* 基盤研究費は、一律300千円としていますが、必要に応じて挑戦的支援研究費0～1,000千円を記載してください。ただし、挑戦的支援研究費については、研究費は審査後に決定するため減額する可能があります。

そのため、基盤研究費には本研究計画を実施する上で必須となる経費を計上し、挑戦的研究費には減額等が発生した場合にも調整可能な範囲の経費を計上してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年度 | 基盤研究費 | 挑戦支援研究費 |
| 2022 | 300千円 | *0～1,000千円* |

2022年度の経費内訳　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：千円）

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 予算費目 | 基盤研究費 | 金額 | 挑戦的研究費 | 金額 |
| 物品費 | *●●顕微鏡(VGJY-30Y、●●社製、第4学舎第1実験棟●●研究室)・@400×1＝400**内訳：基盤研究費200千円**挑戦的研究費200千円* | *200* | *●●顕微鏡**※基盤研究費との合算購入* | *200* |
| *情報処理関係洋和書・@4×3＝12* | *12* | *文具等一式* | *5* |
|  |  |  |  |
| 旅費 | *資料収集・東京・1泊2日・@49・1人・1回＝49* | *49* |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 人件費・謝金 | *実験補助・@1.1×4時間×3人×2回＝26.4* | *27* |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| その他 | *論文投稿料・@12×1回＝12* | *12* | *論文投稿料・@20×1回＝20* | *20* |
|  |  | *資料送付代・@0.5×10回＝5* | *5* |
|  |  | *ワークショップ時の会場費* | *30* |
|  |  |  |  |
| 小計 | *300* | *260（1,000上限）* |
| 合計 | *560（1,300上限）* |

※必要な経費を項目ごとに記入してください。不足する場合は、適宜、行を追加してください。

※記載に際しては、記入例をご参照いただき、できるだけ具体的に記入してください。

５　【予算費目について】

　※予算費目の詳細については、研究費支出手続ハンドブックをご参照ください。

　●　物品費

　（消耗品扱い）

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 | 参照ページ |
| 1件または1組の価格が5万円未満の物品 | P.17～P.18 |
| ソフトウェア |
| 図書、雑誌、AV資料（CD、DVD等） |

　（設備備品扱い）

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 | 参照ページ |
| 1件又は1組の価格が5万円以上20万円未満で、耐用年数1年以上の物品 | P.17～P.18 |
| 1件又は1組の価格が20万円以上で、耐用年数1年以上のもの（自己調達不可） |

　●　旅費

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 | 参照ページ |
| 研究代表者及び研究協力者（原則、学部生を除く）の海外・国内出張（資料収集、各種調査、研究の打合せ、研究の成果発表等）のための経費（交通費、宿泊費、日当）等 | P.24～P.26 |

●　人件費・謝金

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 | 参照ページ |
| 資料整理、実験補助、研究室での研究補助、アンケート配付・回収、資料収集等 | P.17～P.18 |
| 翻訳・校閲  | P.29～P.30 |
| 講演会講師謝礼  |
| インタビュー・助言・パネリスト等  |
| 講演通訳  |
| モニター協力及び実験協力（被験者）  | P.30 |
| アンケートの聞き取り調査への回答及び試料提供等  |

●　その他

|  |  |
| --- | --- |
| 内容 | 参照ページ |
| 文献複写料 | P.17～P.18 |
| 当該研究の成果報告書等の印刷 |
| 郵便物、宅配業者による発送 | P.31 |
| 学会年会費、投稿料等 |
| 機器レンタル、リース、会場借用 |
| 会議及び打ち合わせに係る費用 | P.32 |
| レセプション、懇親会費等 | P.33 |
| 業者への業務委託 |